

令和8年度  
新潟県病害虫発生予察速報第6号  
(斑点米カメムシ類の発生状況)

1 斑点米カメムシ類主要加害種の発生状況（7月上旬）

- ・ アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメの確認地点率、すくい取り虫数ともに平年並。
- ・ オオトゲシラホシカメムシの確認地点率は平年比やや低く、すくい取り虫数は平年並。
- ・ ホソハリカメムシの確認地点率は平年比高く、すくい取り虫数は平年比多い。
- ・ クモヘリカメムシの確認地点率は平年比やや高く、すくい取り虫数は平年並。

表 斑点米カメムシ類の水田畦畔すくい取り結果（防除所巡回ほ場75地点）

種類	確認地点率 (%)				すくい取り虫数 (頭)			
	本年	前年	平年	平年比	本年	前年	平年	平年比
アカスジカスミカメ	53.3	71.6	49.2	並	12.3	34.7	13.2	並
アカヒゲホソミドリカスミカメ	42.7	55.4	45.4	並	3.7	4.1	4.3	並
オオトゲシラホシカメムシ	9.3	14.9	11.8	やや低	0.2	0.2	0.2	並
ホソハリカメムシ	6.7	4.1	1.7	高	0.4	0.1	0.0	多
クモヘリカメムシ	1.3	1.4	0.6	やや高	0.0	0.0	0.0	並

注1) 20回振りすくい取り調査の結果

注2) 表中網掛けは確認地点率が平年比やや高～高、すくい取り虫数が平年比やや多～多となったもの。

2 当面の対応と注意事項

- (1) 水田周辺の畦畔や水田内の雑草管理を徹底し、斑点米カメムシの密度低減、水田内への侵入量低減に努める。
- (2) 生育状況を把握し、品種ごとの適期防除に努める。
- (3) 前年、クモヘリカメムシの発生が多かった地域では、発生状況の把握に努める。